

BOU PENDANT/Hex

取 扱 い 説 明 書

お 願 い

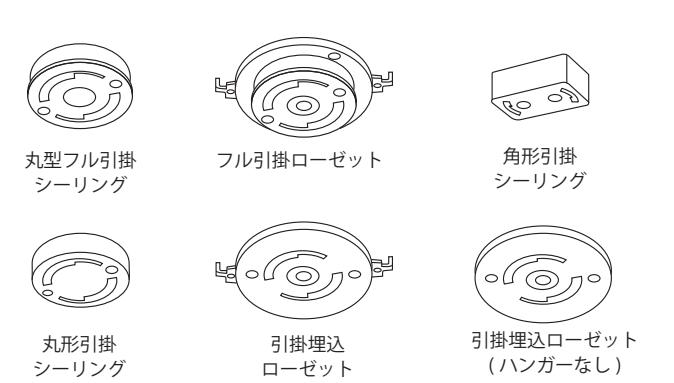
- ご使用の前に本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 木材は天然の素材の為、木目の個体差や時間の経過とともに色味が変化する場合があります。
- 本製品は天井付専用器具です。適切な設置方法をご確認の上、ご使用ください。

仕 様

- 推奨電球 E17口金LED 電球 （電球は付属しておりません。）
- 口金 E17
- 消費電力 7W
- 定格電源電圧 100V

取 付 け で き る 配 線 器 具

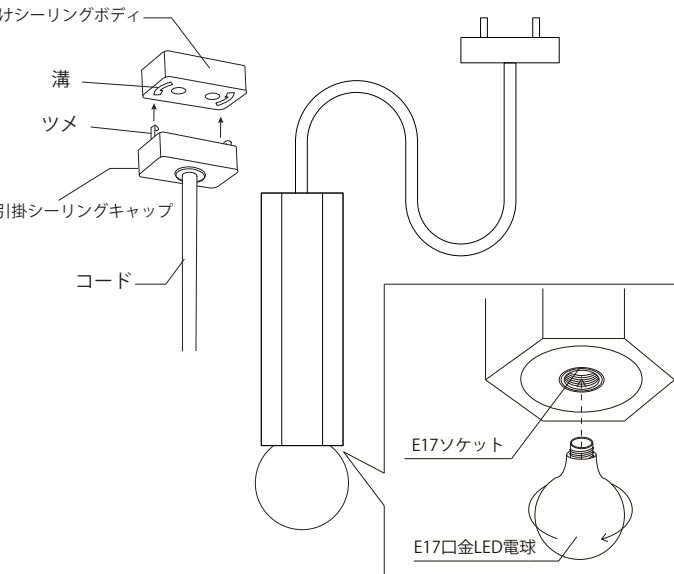
天井面に下記の引掛シーリングボディが付いている場合は、直接取付けが可能です。
下記シーリング図以外の配線器具の場合や、配線器具が設置されていない場合は取付けができませんので、工事店に配線器具の取替え、取付けをご依頼ください。
※引掛シーリングの種類によっては取付けができない場合があります。
その場合は、引掛シーリングボディをお客様でご用意ください。別途電気工事が必要になります。



取 付 け 方 法

1. 安全確保の為、作業を始める前に必ず電源ブレーカー及び電源スイッチを遮断してください。
2. 引掛シーリングキャップのツメを天井面の引掛シーリングボディの溝にはめて回し、取付けてください。
3. 本製品は真鍮灯具を使用しております。素手で取り付けると、手の皮脂などにより変色の原因となります。真鍮部分に触れる際は、手袋を着用して取り付けてください。
4. ソケットにE17口径の電球を取り付けてください。
※電球は本製品に付属されていません。

※電球交換の際は、逆の手順で行ってください。電源を切った後すぐは電源が熱い場合があります。シーリングを外しばらく経ってから行ってください。



お 手 入 れ

- 安全に使用していただくため、定期的（6ヶ月に1回）清掃をしてください。
- シンナーなどの揮発性のもので拭いたり、磨かないでください。変色や破損の原因になります。

真鍮メンテナンス

- ・ほこりや軽い汚れが気になる場合は、柔らかく乾いた布で乾拭きしてください。
- ・真鍮のくすみや変色が気になる場合は、真鍮磨きクロスで磨く、または真鍮専用クリーナーをご使用ください。アルコールやシンナー等の溶剤は、使用しないでください。

▼ 取扱注意点 (経年変化について)

- ・素手で触れると、手垢や皮脂により変色が生じる場合があります。取付やお手入れの際は、未使用の柔らかい布やゴム手袋を着用してください。
- ・真鍮は、時間の経過とともに色合いが変化します。素材の特性としてご理解ください。
- ・水分が付着すると、表面に模様やシミが生じる場合があります。水のかかる場所での使用や保管は避けてください。
- ・お届けまでの期間に、経年変化が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・塩害の影響を受ける地域では、変色が強く出る場合がございます。

▼ 保管

- ・保管の際は、高温多湿の場所を避け、埃や湿気を取り除いた状態で保管してください。

木メンテナンス

- ・普段のお手入れは、乾いた柔らかい布で軽く乾拭きし、チリやホコリを払う程度で十分です。
- ・本製品は、オスモイル塗装を施しております。
- ・経年や乾燥により艶がなくなった場合は、再度オイルを塗布してください。
- ・塗装後は、指定の乾燥時間を守り、十分に乾燥させてからご使用ください。

推奨オイル
オスモイル（3032 クリア）

警 告 ・ 注 意

- この器具は一般屋内環境用の天井付照明器具です。
下記のような使用環境、条件では使用しないでください。
火災・感電・落下の原因となります。
 - ― 周囲温度が35度以上の所
 - ― 屋外の水の掛かる所や、浴室などの湿気の多い所
 - ― 振動や衝撃の激しい所、腐食性、可燃性ガスの発生する所
 - ― 粉塵などの多い所
 - ― 補強のない薄い天井部（ベニヤ板・石膏ボード等）
 - ― 傾斜天井
 - ― 壁面・床面

- 器具を改造したり部品交換をしたりしないでください。火災・感電・落下による怪我の恐れがあります。

- 器具や電球を紙や布など燃えやすいもので覆わないでください。火災・感電の原因となります。

- 電球は器具表示のものを使用してください。間違った種類、ワット数の電球を使用すると火災の恐れがあります。

- 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。工事店、お買い上げ店にご相談ください。

- 温度の高くなるものを器具の下に置かないでください。

- 点灯中や消灯直後の電球には触らないでください。やけどの原因となります。

- 照明器具には寿命があります。
設置から8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進んでいます。定期的な点検・必要に応じた交換をしてください。
点検せず長時間使い続けると、稀に火災・感電・落下などに至る場合があります。周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。